

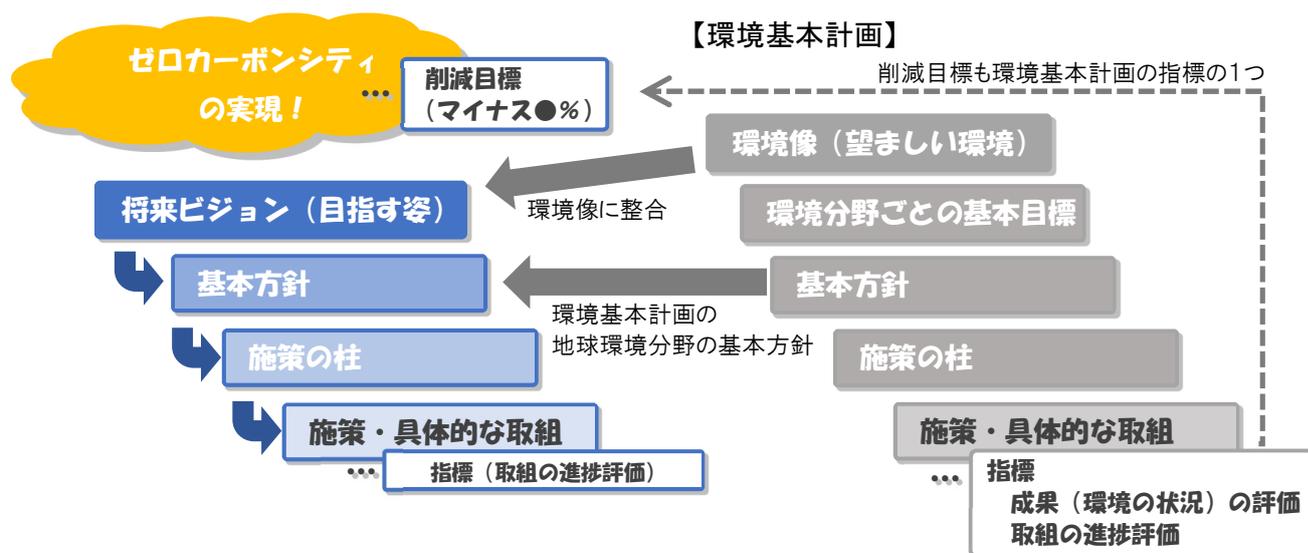
将来ビジョンと取組内容について

1-1 将来ビジョンの位置づけ

将来ビジョンは、2050 年において脱炭素(カーボンシティ)を実現した将来の姿を表現したもので、この将来ビジョンを通じて、今後目指す将来の姿を市民・事業者と共有し、取組への理解と協力を進めていきます。

◆計画の体系

【地球温暖化対策実行計画区域施策編】



1-2 将来ビジョン案

瑞浪市の特性や、各省庁が整理した 2050 年におけるカーボンニュートラルの情勢、技術革新の状況を参考にして検討しました。 ※今後、市民・事業所アンケートの結果を踏まえて見直しを行います。

◆カーボンニュートラルの情勢・技術革新に関する参考資料の例

作成主体	作成年次	資料	将来像の例
国土交通省	2020 年	「国土の長期展望」中間とりまとめ	「真の豊かさ」を実感できる国土形成
内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局	2019 年	将来に予想される社会変化 第 2 期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定に関する有識者会議 (第 1 回) 資料 6	スーパー・メガリージョンの形成
日本政府	2019 年	パリ協定に基づく成長戦略としての長期戦略	
経済産業省	2018 年	2050 年までの経済社会の構造変化と政策課題について 第 1 回 産業構造審議会 2050 経済社会構造部会 資料 4	人生 100 年時代に対応した生涯現役社会
総務省	2018 年	自治体戦略 2040 構想研究会 第二次報告	くらしの維持
環境省	2017 年	長期低炭素ビジョン	
内閣府	2016 年	第 5 期科学技術基本計画	Society5.0

出典 環境省 地方公共団体における長期の脱炭素シナリオ作成方法とその実現方針に係る参考資料 Ver. 1.0

【将来ビジョン案】

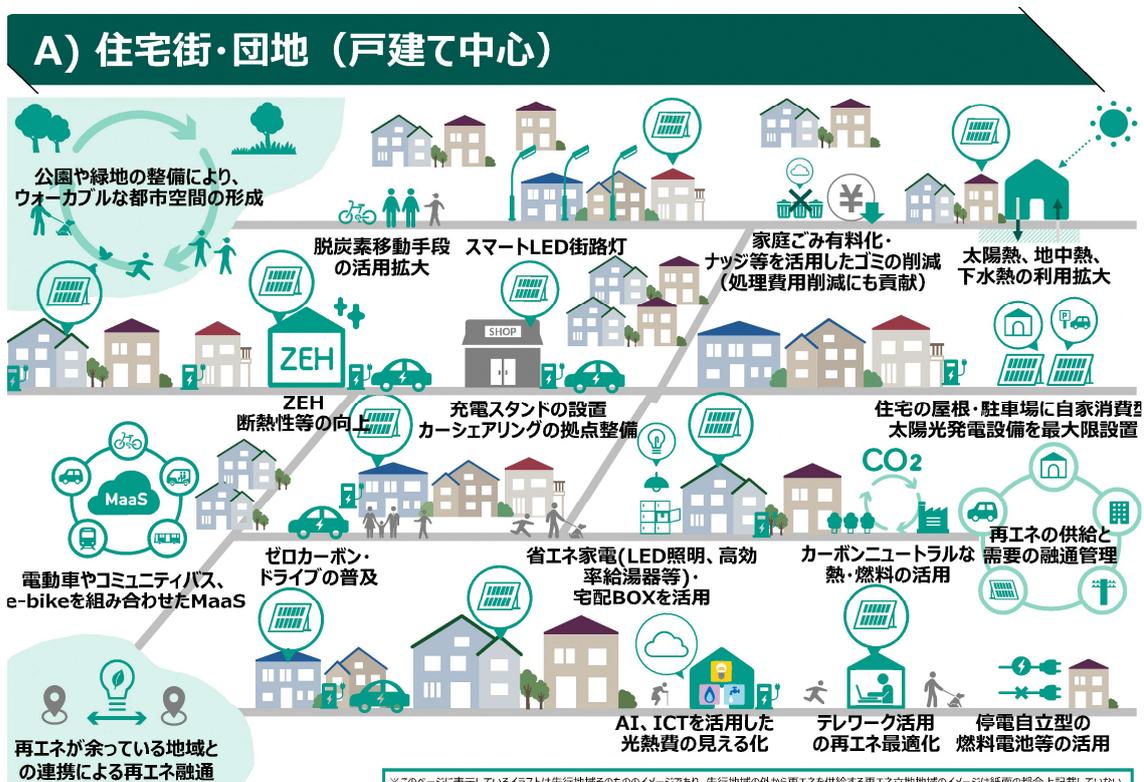
各家庭や事業所において、あらゆる機器がデジタル化し、AI や IoT などの技術を活用したり、行動科学を用いたライフスタイルの提案などにより、誰もが効率よくエネルギーを利用しています。

瑞浪市の資源を活用した再生可能エネルギーや水素の導入と活用が拡大し、次世代電力マネジメントサービスを通じて、安定的にカーボンフリーな電力と熱が供給されています。住宅への太陽光発電の導入も進み自家消費が普及するほか、余剰電力をシェアすることで、電力消費者と生産者を兼ねる“プロシューマー”が一般化しています。

また、交通においては、マイカーや社用車のほかコミュニティバスやデマンド交通などあらゆる乗り物が、電気自動車や燃料電池自動車など ZEV (Zero Emission Vehicle) 化しています。さらに、電気自動車は蓄電池としての役割を果たし、自立分散電源の一端を担うほか、災害時において非常用電源としても活用されています。

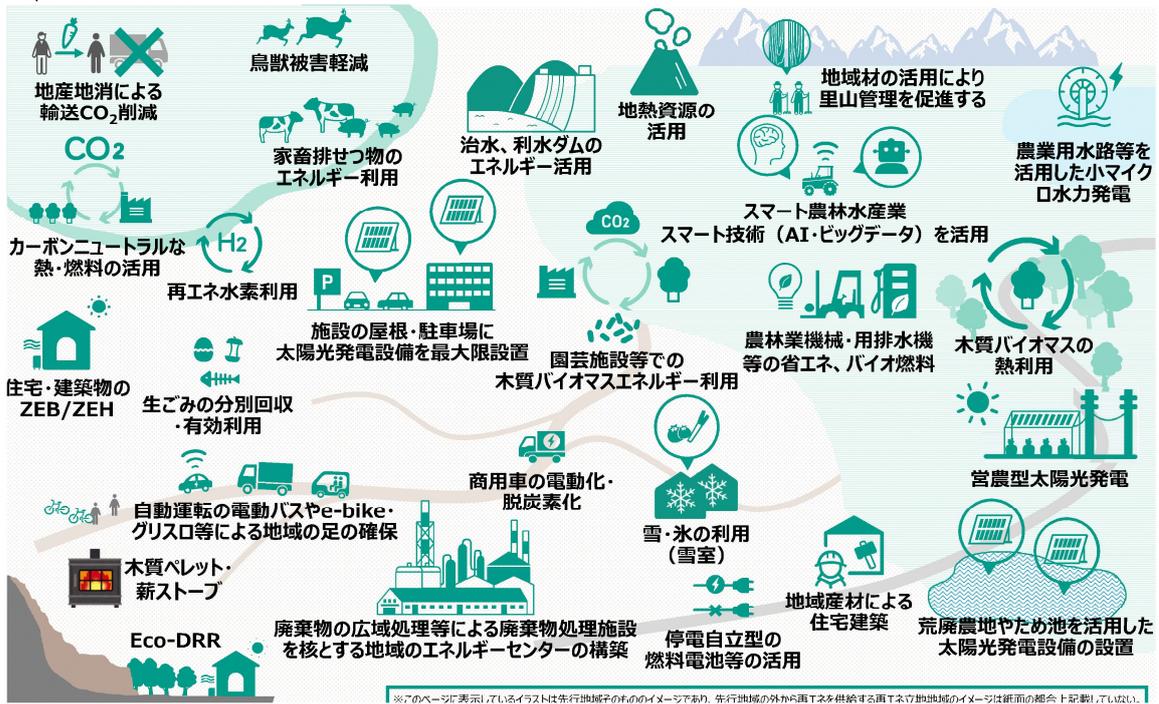
瑞浪市の約 7 割を森林が占めており、豊かな自然環境の象徴であるとともに、多くの市民が里山や田園に愛着を抱いています。森林は生物の棲み処としてだけではなく、多様な機能を有しており、その一つに二酸化炭素の吸収源としての役割があります。適切な森林の整備と管理が持続的に行われ、さらに市街地を含めた緑化やグリーンインフラの活用により、グリーンカーボンの保全と活用が進んでいます。

◆イメージ



出典 環境省_地域脱炭素ロードマップ【概要】

F) 農山村（農地・森林を含む農林業が営まれるエリア）



出典 環境省_地域脱炭素ロードマップ【概要】

1-3 基本方針案

削減目標の達成に必要な施策について、取組の方向性として基本方針を設定し、さらに瑞浪市の地域特性や上位関連計画等を踏まえた具体的な施策を設定します。

基本方針については、省エネルギーに関する取組、再生可能エネルギーや水素等の次世代エネルギーの導入に関する取組、みどりの保全に関する取組み、環境教育・学習や推進体制に関する取組の4つを基本方針案としました。

◆基本方針案

1. 省エネルギー活動の促進

日常生活や事業活動における省エネルギー活動を促進するとともに、ごみ処理に係る温室効果ガス排出量の低減に取り組みます
さらに、次世代自動車の利用環境の改善、公共交通機関の利用促進など交通に伴う環境負荷低減に取り組みます

2. 次世代エネルギーの活用

市内への再生可能エネルギーの導入拡大や、効率のよいエネルギーへの転換に取り組みます
また、脱炭素社会に向けて市内の発電量を補うため、市外から再生可能エネルギーを活用したカーボンフリー電力等の調達を図ります

3. グリーンカーボンの活用

森林整備や優良農地の確保を通じて吸収源対策を推進します
また、市街地における公園整備や私有地の緑化、水と緑のネットワーク形成により、暑熱環境を改善し快適な空間形成に取り組みます

4. みんなで取り組む体制づくり

地球温暖化対策に関する環境教育・学習や、普及啓発イベントの開催、連携した取組の推進など、各主体が自主的に取り組むための体制づくりに取り組みます

1-4 施策案

基本方針を踏まえて、具体的な施策案(取組内容)を検討しました。

施策の検討にあたっては、瑞浪市の上位関連計画と整合を図るとともに、岐阜県「岐阜県地球温暖化防止・気候変動適応計画」や環境省「地方公共団体における長期の脱炭素シナリオ作成方法とその実現方策に係る参考資料 Ver.1.0」を参考にしました。

◆施策案

1. 省エネルギー活動の促進

施策の柱	施策（取組内容）
① 市民の省エネルギー活動の促進 【民生家庭部門】	<ul style="list-style-type: none"> • 日常における自発的な行動促進に向けて、自主的な行動を促す情報を積極的に発信します。 • 省エネルギー機器への更新やライフスタイルに合わせた省エネルギー対策、使用エネルギーの可視化を促進します。 • 住宅の新築・改修にあたり、省エネルギー住宅等の採用を促進します。 • 補助金制度等を継続し、再生可能エネルギーの利用を積極的に支援します。 • 家庭用燃料電池コージェネレーションシステム（エネファーム）の活用を促進します。
② 事業者の省エネルギー活動の促進 【産業部門】 【民生業務部門】	<ul style="list-style-type: none"> • 事業活動における自発的な行動促進に向けて理解を深めるとともに、省エネルギー性能の高い設備・機器等の導入、省エネルギー診断の受診など、設備の運用方法の見直し等を促進します。 • Z E B 普及促進のため、設備導入やB E M S ・スマートメーター等導入に係る支援策を検討します。 • 太陽光発電等の再生可能エネルギーや水素エネルギーの活用を促進します。 • テレワークの導入等による事業所におけるエネルギー消費量の削減を促進します。 • 環境に配慮した製品の製造や、サービスの提供を促進します。 • カーボンニュートラル技術に関する情報を積極的に収集し、技術力の底上げを図ります。 • 瑞浪市地球温暖化対策実行計画に基づき、二酸化炭素の排出量削減に努めます。
③ 環境にやさしい移動の普及促進 【運輸部門】	<ul style="list-style-type: none"> • 交通手段の多様化と移動円滑化を図り、自動車に依存しない移動を促進します。 • 次世代自動車の導入、導入支援、インフラ設備の拡充を図るとともに、次世代自動車の、災害時における防災電源としての利用を促進します。 • 交通事業者や運送事業者と連携し、バスや貨物自動車への次世代自動車の導入を促進します。 • エコドライブの普及啓発活動を通じて、実施率の向上を図ります。

施策の柱	施策（取組内容）
④ 省資源化と循環利用の促進 【廃棄物部門】	<ul style="list-style-type: none"> 市民・事業者の自主的かつ積極的な取組のため、ごみを減量する意識をもつよう啓発活動を促進します。
	<ul style="list-style-type: none"> 資源ごみの分別について啓発を行い分別ルールの徹底を進め、リサイクル率の向上を図ります。
	<ul style="list-style-type: none"> 使い捨てプラスチック削減やプラスチックの代替品への利用転換を促進します。
	<ul style="list-style-type: none"> 食品ロス削減の必要性やその手法について、消費者への普及啓発を実施します。

《取組の指標案》

項目	実績	目標 【2030年度】
「瑞浪市エネルギー利用最適化事業補助金」件数 （蓄電システム、次世代自動車用充電システム、 家庭用燃料電池システム、住宅用太陽光発電システム）		
省エネに取り組む世帯、事業所の割合 ※アンケート		
断熱化を実施した世帯数		
次世代自動車普及台数		
電気自動車等の充電設備の設置数（補助件数）		
可燃ごみ排出量 （廃プラスチックの組成率、生ごみの排出量）		

2. 次世代エネルギーの活用

施策の柱	施策（取組内容）
① 市内への次世代エネルギーの導入 【全部門】	<ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電システムのほか、蓄電池やエネルギー管理システム等の一体的な導入支援を行うとともに、災害時の活用を見据えた導入を促進します。 再生可能エネルギーを活用した、公共施設におけるモデル構築及び民間施設等の連携について検討します。 地域新電力などを構築し、エネルギーの安定供給に向けた地域全体でのエネルギー（電力）導入を推進します。 林地残材や間伐材、農業バイオマス資源、廃棄物系バイオマス資源の利活用を促進します。 水素社会の実現に向けた普及啓発活動を行うとともに、水素ステーションの整備や、燃料電池自動車、家庭用燃料電池等の設備について導入を促進します。
② 市外からの再生可能エネルギーの調達 【全部門】	<ul style="list-style-type: none"> 広域連携により、再生可能エネルギーにより発電した電力等の調達を検討します。 再生可能エネルギー電力の共同購入、電力事業者の情報提供・啓発により、再生可能エネルギー電力の選択を促します。 グリーン電力証書・非化石証書への理解を促進し、普及を促進します。

《取組の指標案》

項目	実績	目標 【2030年度】
太陽光発電設備、蓄電池への補助金件数		
再生可能エネルギー施設の設置容量		
公共施設への再生可能エネルギーの導入容量		

3. グリーンカーボンの活用

施策の柱	施策（取組内容）
① 森林整備による吸収源対策の促進 【吸収源対策】	<ul style="list-style-type: none"> 森林のもつ多面的な機能を維持するため、健全な森林環境の保全に努めます。 国定公園の森林地域や、多くの保安林および特別緑地保全地区など森林の適切な育成、管理を図ります。
② 緑化の推進 【吸収源対策】	<ul style="list-style-type: none"> 耕作放棄地の解消に努めるとともに、ほ場整備や農地集積を促進します。 身近な公園の計画的な整備や建築物の壁面緑化、屋上緑化など緑化推進を図ります。 親水空間と一体となった水と緑のネットワークの形成を図ります。

《取組の指標案》

項目	実績	目標 【2030年度】
森林保全実施面積		
緑地面積		

4. みんなで取り組むチームワークづくり

施策の柱	施策（取組内容）
① 環境教育・ 環境学習 【全部門】	<ul style="list-style-type: none"> 小学校等における環境学習を実施し、環境意識の向上を進めるほか、エコスクールの水平展開を図ります。 市内の大学等の教育機関と連携して環境教育や体験学習の推進を図ります。
② 各主体の温暖化 対策の促進 【全部門】	<ul style="list-style-type: none"> 瑞浪市節電・省エネ・新エネ推進会議の開催などにより環境意識の高揚を図り、節電・省エネを推進します。 環境カウンセラー、地球温暖化防止活動推進員等との連携を図り、地球温暖化防止の取組を進めます。 市民の地球温暖化対策や環境保全活動を支援していく制度、しくみの充実を図ります。 事業所に対する地球温暖化対策や環境保全に関わる施策の紹介や法制度等の周知を徹底します。

《取組の指標案》

項目	実績	目標 【2030年度】
環境学習事業（温暖化対策関連）の参加者数		
ゼロカーボン関連イベントの参加者数		